

# 会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度 第4回地域福祉計画推進会議	
開 催 日 時	令和元年 11月 28日 (木) 14時 00分～15時 40分	
開 催 場 所	宍粟市役所北庁舎 401 会議室	
議長 (委員長・会長) 氏 名	地域福祉計画推進会議会長 藤原 慶二	
委 員 氏 名	(出席者) 藤原慶二(会長)、釜井廣子(副会長)、 波多野好則、大杉史郎、春名スマ子、 杉本憲昭、大前好美、河津光重、 谷林由美、山本正幸	(欠席者) 平瀬順一、 進藤弘子
事 務 局 名	健康福祉部 世良部長、大谷次長 健康福祉部社会福祉課 橋本次長兼課長、久内係長、衣笠主査 健康福祉部障害福祉課 三木次長兼課長 健康福祉部介護福祉課 小椋課長 健康福祉部保健福祉課 平尾課長	
傍 聴 人 数	0 人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	(非公開の理由)
決 定 事 項	(議題及び決定事項) 別紙のとおり	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	・ 第3期宍粟市地域福祉計画 (11/21 時点素案) ・ 令和元年度 第4回宍粟市地域福祉計画推進会議 次第	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
(事務局)	1 開 会
(会長)	2 あいさつ (1) 会長 あいさつ
(事務局)	(2) 健康福祉部長 あいさつ
(事務局)	3 協議事項 続きまして次第 3 協議事項に入ります。ここから先につきましては会長により進行をお願いします。
(会長)	それでは、協議に入ります。(1) 計画素案の修正内容等について、事務局から説明をお願いします。
(事務局)	資料に基づいて、事務局から説明。
(会長)	今の説明に対して何かご意見ご質問はありますでしょうか。
(委員)	数点のことについてまとめて発言します。 1 つ目、コラムの部分についてですが、写真や表を挿入することで、読みやすくなると思います。また、QR コードを載せてより詳しい情報をインターネットなどで見られるようにする手法がとれれば、さらに良いと思います。 2 つ目、3 ページの 5. 計画の期間についてですが、計画の期間を表で示した方が分かりやすいと思います。 3 つ目、4 ページの (2) 宍粟市地域福祉計画推進会議の開催の所に、会議の開催日時を載せる方が良いと思います。また、(3) パブリックコメントの実施の所に、パブリックコメントで出た意見を記載したら良いのかと思います。 4 つ目、35 ページですが「北部域の波賀・千種区域」という表現が出てきますが、北部域には一宮北部も含まれるのかと思います。 5 つ目、53 ページですが施策の方向性の所に「それぞれ別個の背景を持つ市民」という表現があるが、意味が分かりにくいかと思います。「市民」だけでも良いのかと思いますが…。また、取り組みの内容の所ですが上から 3 項目目に「次世代の担い手を育てる風土づくり」という表現がありますが、「風土づくり」という表現が理解しにくいかと思います。何か良い案があれば変更をお願いします。 6 つ目、62 ページの一番上に「(4) その人に必要な支援に取り組みます」という記載がありますが、「その人に必要な支援」という表現がわかりにくいというか、もっと良い表現があるような気がします。 7 つ目、63 ページのコラムに自立支援のことを記載されているのだが、宍粟市の自殺率が高いという現状を市民に知っていただくためにも、自殺に関するものについて記載をしてはいかがでしょうか。

	<p>8  つ目、65 ページの評価指標についてだが、自治会毎に防災計画を立てていると思うので、その策定数を加えることはできないでしょうか。</p> <p>9  つ目、70 ページの推進体制についてだが、重要な部分なのでもっと詳しくした方が良いと思います。例えば「3. 計画の評価・検証」の所に「宍粟市地域福祉計画推進会議で随時意見を聴きながら、計画の進捗管理を行っていきます」という記載があるが、具体的にどのように進めていくかを記載した方が、市民の方にも委員にもわかりやすいと思います。また、本計画は広い分野に関する計画であるので、計画が出来上がった後に庁内で計画を周知して、庁内全体で連携していくこと重要になってくると思うので、庁内での推進体制についても記載しておいた方が良いと思います。</p>
(事務局)	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>まず1  つ目と2  つ目についてですが、いただいた意見をもとにもっと読みやすくわかりやすくなるように調整します。</p> <p>3  つ目についてですが、5  章の資料編で詳しく記載する予定ですので、ご了承願います。</p> <p>4  つ目についてですが、「一宮北部」についての記載を検討します。</p> <p>5  つ目についてですが、会長とも相談して表現を検討します。</p> <p>6  つ目についてですが、事務局内で十分に検討した結果この表現とさせていただいたという経緯もあり、できればこのまま残したいという気持ちはありますが…。</p>
(委員)	<p>会長のご意見はいかがですか。</p>
(会長)	<p>難しいところですね。もう少しわかりやすい表現に変更できれば良いと思いますが、何かに限定されてしまうような表現だとだめですしね。</p>
(委員)	<p>参考程度にしていただければと思いますが、「支援が必要な人への取り組みをすすめます」という表現はいかがでしょうか。</p>
(会長)	<p>私も他の自治体の例を確認してみます。</p>
(事務局)	<p>それでは、先ほどの続きに戻ります。7  つ目の63 ページのコラムについてですが、自殺についてのコラムの掲載を検討します。</p> <p>8  つ目についてですが、消防防災課と防災計画の策定数が指標とできるか調整します。</p> <p>9  つ目についてですが、業者等と調整します。</p>
(会長)	<p>パブリックコメントに関するところは、実際にやってみないとどういう意見が出てくるかわからないので、実際の意見の内容を確認してから、本計画にどう反映するか検討したら良いと思います。</p> <p>他に何かご意見等ありますでしょうか。</p>

<p>(委員)</p>	<p>例えば、51 ページ、55 ページ、58 ページの市の取り組みの所に、民生委員・児童委員や社会福祉協議会などの専門機関・団体との「連携」という表現が多く出てくるが、計画中の記載という意味ではこれでいいのかとは思いますが、実際の現場において、実際にこれで動くことができるのかはわからないと思います。連携とはいったい何なのでしょう。</p> <p>例えば、一人暮らしで、精神疾患のため就労もできず、障害年金のみの収入で生活しておられる方がいたとします。炊事をはじめ身の回りのことを自分ですることができないが、親族からの支援もなく、地域との関わりもなく、日々の見守りが必要であるにも関わらず協力してくれる方がおられないとします。私自身は民生委員・児童委員であります。この場合まず市役所の何課を訪ねていったら良いのでしょうか。計画を見ただけではわかりません。例えば、まず障害のサービスを使うために、障害福祉課を訪ねていったとします。次に、お金の支援も必要という話になったとして、社会福祉課へ相談するように言われたとします。またそこでも一から状況を説明することになると思います。連携とは、どの課でも要支援者の情報を共有していて、窓口で名前を言うだけで対応してもらえるような状態である必要があるのではないのでしょうか。また、このような方の場合、障害のサービスの手続きをした後も、安定した生活を送れるようにするためには長期的な支援が必要になると考えられますが、どのように支援していけば良いのでしょうか。計画は計画で良いとは思いますが、現場では実際にこのような方の支援をしていかなければならないという現実もあります。</p>
<p>(会長)</p>	<p>どの自治体でも地域福祉計画で「連携」という表現をよく用いていますが、連携とはとりあえず会議をして情報共有をするだけという場合も多いような気がします。一方で、個人情報保護という観点もありますしね。「連携」とはあくまで手法であり、目的ではないということはよく認識しておく必要がありますね。</p>
<p>(委員)</p>	<p>民生委員・児童委員は仕事上必要な情報を民生・児童協力委員から聴くことができますが、逆に民生委員・児童委員が知っている情報を民生・児童協力委員に提供することができないということもあります。</p>
<p>(会長)</p>	<p>個人情報保護法は、第 3 者に情報漏洩をしてはいけないのであって、必要な情報は共有すべきですね。他にありますか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>私からも数点お伝えさせていただきます。</p> <p>まず 1 つ目ですが、35 ページの下の方に、「市内でも人口が集中しており、地域のつながりが薄いと考えられる山崎地区」という表現が出てきますが、山崎地区の中心部では一部でこのような現状があるかもしれないが、山崎地区と言っても色々な地域が含まれますし、このような記載をして山崎地区の住民が不快に思われないだろうかというのが気になります。</p> <p>2 つ目ですが、先ほど委員からありました 53 ページの取組みの内容、上から 3 項目目の「風土づくり」という表現についてですが、「土壌づくり」という表</p>

	<p>現はいかがでしょうか。</p> <p>3つ目ですが、65ページのコラムについて、「自主防災マップ」の作成について書かれています。「自主防災マップ」の作成については、各自治会において3～4年前から進められていると思いますが、自治会によっては作成が進んでいなかったり、役員の交代等でうまく引き継げていなかったりして、未完成の所があるようです。社会福祉協議会では、各自治会での「自主防災マップ」の完成の目途が立った後で、それを基に「防災・福祉マップ」へ発展させていくことを支援していく予定なので、今のところ何もできていないのが現状です。コラムの修正をお願いします。</p>
(事務局)	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>まず1つ目についてですが、山崎地区の表現を見直します。もっと抽象的な書き方にした方が良いのですかね。</p> <p>2つ目についてですが、先ほど「風土」という表現がわかりにくいという指摘があり、「土壌」に変更してはどうかとのご意見もいただいたので、会長とも相談して調整させていただきます。</p> <p>3つ目についてですが、「自主防災マップ」については、前から作成についての話はありましたが、浸透していなかったり、作成はしたが更新されていなかったり、作成の途中であったりする現状があると思います。「防災・福祉マップ」への発展の話も含め、コラムについて社会福祉協議会と相談して調整させていただきます。</p>
(会長)	<p>1つ目についてですが、地域は線で区切れないので、●●地区という表現は難しいという部分もあると思います。地区名が出るとリスクが高いというのであれば、例えば高齢化率が●%を超える地域や人口が集中している地域というような表現に変更したら良いのかなと思います。</p> <p>2つ目についてですが、風土はつくるものではなく出来上がるものという考えもありますので、土壌という表現の方が良いのかなとは思いますが、また調整しましょう。</p> <p>3つ目の自主防災マップのコラムについてですが、どこかの自治会で実際に使えるマップがあれば、モデル例として写真も掲載したら良いと思います。</p>
(委員)	<p>70ページの計画の推進体制についてですが、もっと具体的に記載する予定でしょうか。ここが一番大切な部分だと思います。例えば、時期などについて詳細に書く必要があると思いますが。</p>
(会長)	<p>たしかに推進体制はすごく重要ですね。例えば、「3. 計画の評価・検証」内に「定期的に評価・点検を行い」や「随時意見を聴きながら」という記載がありますが、「定期的」や「随時」だと具体的なところがわかりませんよね。</p>
(委員)	<p>庁内連携が本当に大切だと思いますので、庁舎内でも進捗状況を確認する会議を開くことも必要かと思います。それも計画に謳い込む必要があるのかと思います。ガイドブックも参考に検討してください。</p>

(会長)	庁内会議については、出来るのかも含めて調整が必要ですね。
(副会長)	<p>第 2 期計画の策定にも携わりましたが、策定後の見直しの機会は 1 回もなかったと思います。実際に活かせる計画にするためには、見直しが大切だと思うので、今回はぜひとも実行したいですね。</p> <p>それと、46 ページの評価指標中、「自殺対策ゲートキーパー研修受講者数」のところですが、今年度のデータはあるのでしょうか。令和 6 年度の 150 人という目標値の根拠を知りたいと思うので。</p>
(事務局)	今年度は、千種と波賀の民生委員・児童委員と一部の民生・児童協力委員の方向けに研修をさせていただきました。今後は、民生委員・児童委員に何年か毎に講習を受講していただくことと市の職員研修の一環で実施することを予定しており、このような目標値を設定しています。
(委員)	用語の解説集はどうする予定ですか。
(事務局)	巻末の資料編に用語集を付ける予定です。用語集についても、作成後に委員の皆さまにご確認をお願いしたいのでよろしくをお願いします。
(会長)	用語集もとても重要なのでよろしくをお願いします。
(委員)	今後本会議で評価するのは、各目標の「市の取り組み」の部分の各項目になるのでしょうか。
(事務局)	全ての項目について数値化して評価できるかはわかりませんが、その予定です。「市の取り組み」の部分は計画では包括的な書き方をしていますので、各項目についてそれぞれ具体的にどのような取り組みをしたかを洗い出して、年度に 1 回取りまとめて委員の皆さまにご確認いただき、いただいたご意見を担当課に返して見直しを行っていくという流れで進めていけたらと考えています。
(委員)	ぜひそのように進めてください。
(委員)	私は、決して福祉に精通しているというわけではないので、そう思うのかもしれないが、この会議の議論が表現のあり方に少しとられすぎているのではないかと思います。先ほどあった 35 ページの山崎地区の表現についても、私は当該地区の住民であるがそれほど気にはならないし、そんなに大きな問題でないように思います。それより、私も民間で仕事をしてきた経験から計画の推進体制がやはり重要だと思うので、各取り組み内容について、この項目は半年で見直しとか、この項目は 3 年で見直しとか、それぞれの項目について PDCA のより具体的な方法を定めて、実現ができるように進めていくことが重要だと思います。悪い言い方になってしまいますが、お役所仕事になって表現などにとられすぎず、少しでも市民の方にわかりやすく市民の方のために役に立つ計

	<p>画を作るということを大切に考える必要があると思います。</p>
(会長)	<p>そうですね。表現についてもどこまで気をつけるか、どこに落としどころをつけるかということもありますが、そこにとらわれすぎずに推進体制を整えて、市民の方のために実現できる計画を作成することが必要ですね。</p> <p>他にご意見がないようでしたら、(2) 今後のスケジュールについてに移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>計画の製本を今年度中に行わなければならないということがありますので、印刷の発注を2月下旬には行っておく必要があります。そこから逆算して考えますと、12月6～20日には庁内の政策会議で素案の確認を行い、12月下旬～1月下旬の1か月間においてパブリックコメントで市民のご意見を求め、その意見に基づいて修正を行った後に2月中旬に本会議を開催し、最終確認を行うというスケジュールで進めていく必要があります。本来であれば、本日委員の皆さまからいただいたご意見を基に修正を行い、再度政策会議前にもう一度本会議を開催させていただくのが良いのですが、スケジュールの関係で難しいので、会長と副会長に代表で確認をお願いしたいと考えていますが、よろしいでしょうか。</p>
(会長)	<p>事務局から提案があったように、私と副会長で政策会議前の素案の最終確認をさせていただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>(一同、異議なし)</p>
(会長)	<p>何か意見等ございましたら、委員の皆さまもパブリックコメントや最終の会議で意見を述べていただいたら良いと思いますので、お願いします。</p>
(事務局)	<p>4 その他</p> <p>次回の会議は、2月中旬頃に開催予定とさせていただきたいと思います。これまでと同様に、会議の前には委員の皆さまに、会議のご案内と事前の資料配布をさせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
(副会長)	<p>5 閉会</p> <p>いよいよ計画策定の終盤に差し掛かってきましたが、会議の回数を重ねるごとに委員の皆さまのご意見も深まってきたと思います。これから事務局には大変厳しいスケジュールの中ですが、調整や検討を行っていただき、パブリックコメントに繋げてほしいと思います。本日はお忙しい中、ありがとうございました。</p> <p>以上。</p>